



No Book No Life



箱根駅伝

＼おめでとう～／

青山学院大圧勝！

第98回箱根駅伝大会。今年もたくさんの感動をもらいました。すでに来年の箱根駅伝が待ち遠しい！そんな人はいませんか？臨場感あふれるこの小説は、テレビで見るよりも大きな感動あなたにもたらししてくれます。

そんな今だからこそよむべき一冊！



「風が強く吹いている」

三浦しをん / 新潮文庫

「俺たちみんな、頂点を目指そう」

すべてが灰人(ハイジ)のこの一言で始まった。

竹青荘で出会った個性豊かな10人が箱根を目指す。しかし、8人は素人同然。前代未聞としか言いようのない箱根への挑戦の行方はいかに！

涙必至の青春小説。

図書室で借りられるよ！



「漢だろ!!」 By 大八木 弘明

今年は3位でしたが昨年優勝を収めた駒澤大学の
大八木監督の名言ですね。走ることがきついのは当たり前ですが、きつくなってからどこまで粘れるか、そこで粘れる者こそが真の男であり、栄光を手にすることができます。高生たるもの、この根性論を勉学に活かして、ここまで学べば大丈夫だろうではなく、もっと学べるという意識をもって、日々自分を磨いていきましょう。

(ジェンダーフリーの観点から異論もあると思いますが、あくまで個人的な意見という事で掲載に踏み切りました。)

駅伝小説と言えばこちらもおすすめ！

「あと少し、もう少し」 瀬尾 まいこ / 新潮文庫

永野芽衣主演で実写化された「そして、バトンは渡された」の原作者、瀬尾まいこによる、さわやか青春小説。こちらは駅伝県大会を目指す中学生の物語。編集者の私も中学3年時に駅伝県大会に出場しました。この本を読むと当時の事を思い出します。是非読んでみてください。

